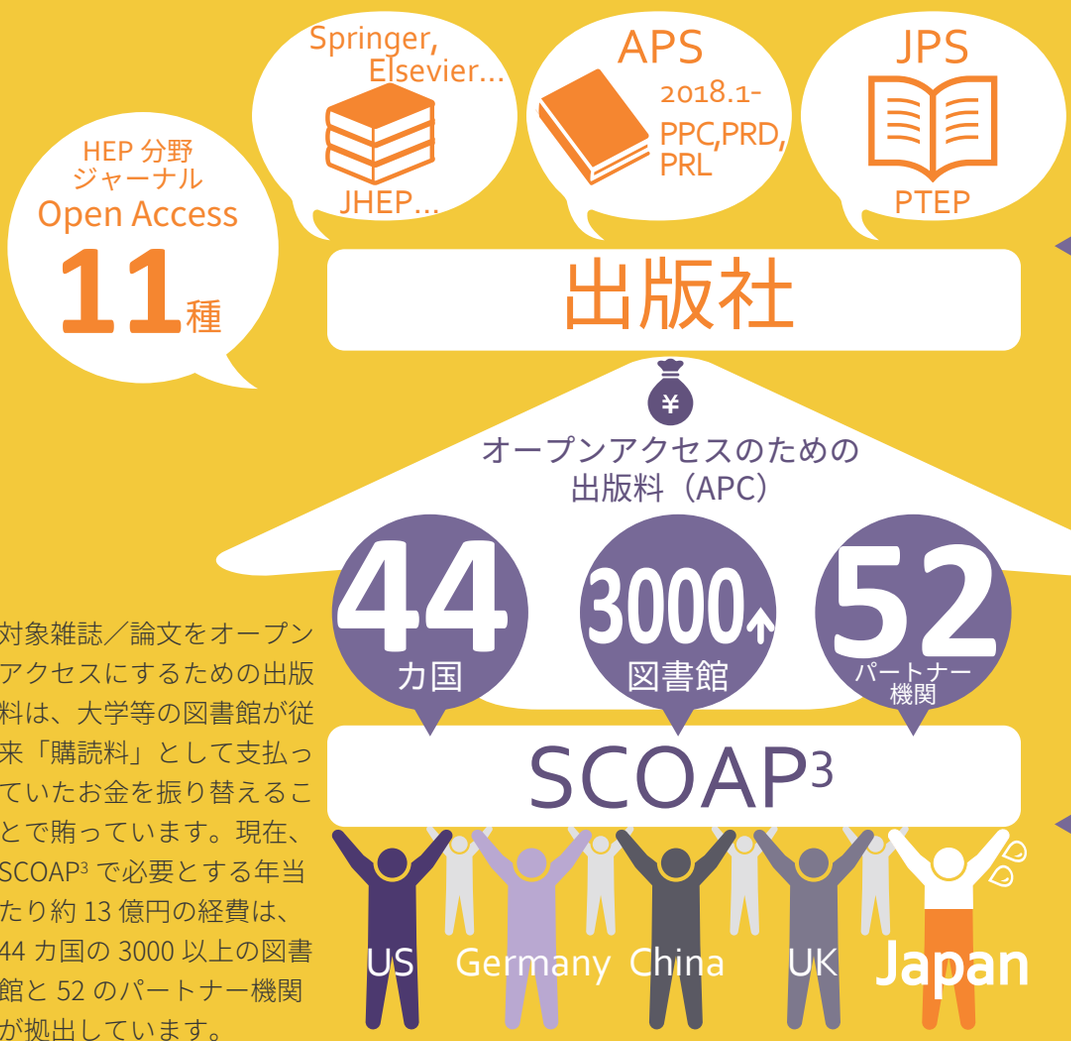
高エネルギー物理学分野論文のオープンアクセス拡大のために SCOAP³ にご協力ください

SCOAP³...

Sponsoring Consortium for Open Access Publishing in Particle Physics

高エネルギー物理学分野（High Energy Physics: HEP）の査読付きジャーナル論文のオープンアクセス化を実現することを目的とした国際連携プロジェクト“ SCOAP³ ”をご支援ください。SCOAP³ のビジネスモデルは、大学等の図書館が従来「購読料」として支払っていたものを、対象雑誌／論文をオープンアクセスにするための「出版料」（Article Processing Charge: APC）に振り替えることで、世界中の誰もが無料でそれらの学術雑誌の論文を読むことができるオープンアクセス化を目指すものです。事務局は CERN に置かれ、実際に 2014 年からオープンアクセス化を始めています。



対象雑誌／論文をオープンアクセスにするための出版料は、大学等の図書館が従来「購読料」として支払っていたお金を振り替えることで賄っています。現在、SCOAP³ で必要とする年当たり約 13 億円の経費は、44 カ国の 3000 以上の図書館と 52 のパートナー機関が拠出しています。

日本物理学会のメリット

論文ダウンロード数増加↑
海外投稿数増加↑

PTEP も SCOAP³ が支える雑誌のひとつです。
2014 ～ 2016 年の 3 年間で 255 論文がこの支援で出版され、論文ダウンロード数は SCOAP³ 参加前に比べ 5 倍以上に増えました。

研究者のメリット

APC（出版料）無償化
オープンアクセス化

コミュニティの団結と世界の図書館の理解により APC の無償化を実現することができました。また、ジャーナル高騰で購読できなかった大学もオープンアクセスで誰もが論文を読むことができるようになりました。

▼SCOAP³ 対象誌

出版社	タイトル
American Physical Society 2018.1 ～	Physical Review C
	Physical Review D
	Physical Review Letters
Elsevier	Physics Letters B
	Nuclear Physics B
Hindawi	Advances in High Energy Physics
Institute of Physics Publishing	Chinese Physics C
Jagellonian University	Acta Physica Polonica B
Oxford University Press /Physical Society of Japan	Progress of Theoretical and Experimental Physics
Springer	European Physical Journal C
	Journal of High Energy Physics

90%
Open Access rate

SCOAP³ により、2018 年には世界の高エネルギー物理学分野の論文の約 9 割がオープンアクセスになります。

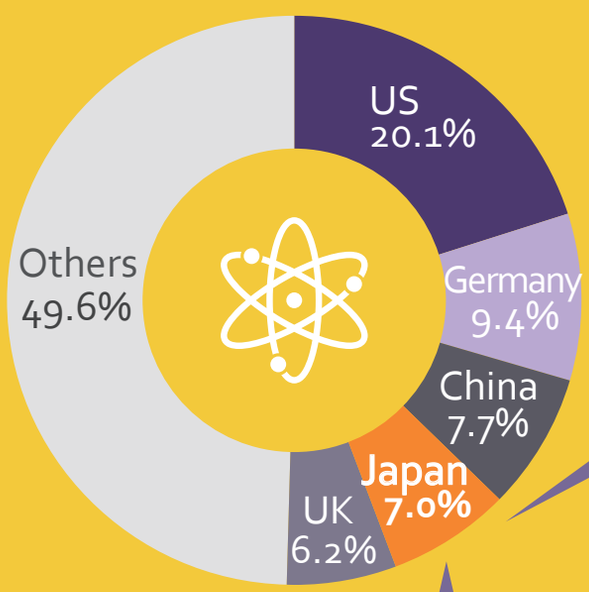
日本物理学会の会員の皆様へ

APS の Physical Review Letters など 3 誌が 2018 年 1 月から新たに SCOAP³ に加わります。そのため、図書館では APS の雑誌の電子ジャーナル購読料の HEP 相当分を SCOAP³ に振り替える再計算を始めます。SCOAP³ に参加しない図書館も出てくる懸念があります。ご所属の大学の図書館に、SCOAP³ に参加し、APS の購読料を出版料に振り替えるよう強く要請をしてください。現在、日本ではわずか 40 の機関しか SCOAP³ に入っていません。

また、SCOAP³ 対象誌に HEP 論文を投稿している方々は、APC を支払わなくて済むといった便益を得ています。所属大学が SCOAP³ に拠出できるよう、図書館を通してあるいは大学全体でご検討ください。

オープンアクセスの恩恵を日本全体で享受するため、そして科学の発展のためにも、SCOAP³ にご協力ください。

▼SCOAP³ の各国論文著者比率
HEP 分野 2014-2016



Japan ranks..
Fourth in the world

高エネルギー物理学分野における日本の論文著者比率は 7.0% で世界第 4 位です。

Japan

国別拠出期待額不足分は CERN が拠出

国内 40 機関のみの拠出だけでは不足

SCOAP³ では、国別に拠出すべき金額を算出しています。算出方法はその国の論文著者の割合に比例します。日本は 7%（世界第 4 位）ですので、約 9 千万円になります。

日本では、大学等 40 機関が参加し、大学図書館がその資料費から購読料相当分を振り替えています。しかし、わが国は論文著者の数に比して、大学図書館による購読料が少なく、参加 44 カ国の中でもとりわけ不足額が大きくなっており、より多くの大学の参加、そして拠出額の拡大が求められています。

オープンアクセスの理念を HEP 分野で実現した国際連携活動 SCOAP³ は世界 4 位の研究成果発信量に見合った負担を日本に求めています

お問い合わせ

SPARC Japan
SPARC Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition
国際学術情報流通基盤整備事業

ウェブ http://www.nii.ac.jp/sparc/scoap3/ Eメール scoap3_office@nii.ac.jp

国立情報学研究所が運営する SPARC JAPAN は、オープンアクセスの推進、学術情報流通の促進および情報発信力の強化に取り組み、学術コミュニケーションの変革を目指します。

※図書館の方へ：研究者から相談があった場合は、上記メールアドレスまでご相談ください。

参考文献
安達淳 . SCOAP³ の現状，課題そして展望 . 日本物理学会誌 . 2013, vol,68, no.1, p50-51.

SCOAP³
http://scoap3.org/